

学校だより

No. 4

【学校教育目標】「自ら考え、共に学び合う子の育成」

文責 近藤 卓



7月に入り、夏の暑さもいよいよ本番といったところですが、子どもたちは元気に登校し、毎朝気持ちのよいあいさつをしてくれます。「校長先生これ見て」と、ダンゴムシやクワガタムシ、ピカピカの石などを見せてくれる子もおり、「どこで捕まえたの」とか「どこで拾ったの」などと尋ねながら会話を楽しんでいます。

大きく成長した1学期

この1学期の間、宿泊行事や校外学習、縦割り班活動、そして日々の授業等を通して、子どもたちは大きく成長しました。

子どもの成長を実感する場面として、私が担当する縦割り班の清掃でのエピソードを紹介します。4月当初は頑張っていた清掃も、中盤になると気が緩んできたのか、ふざけたり遊んだりする場面が見られるようになってきました。

しばらくそのような状態が続いたのですが、そのうち「これではいけない」と気づき、6年生を中心に清掃方法の見直しが行われました。すると、学期の後半には、自分がすべきことを考えながら懸命に励む姿が見られるようになりました。

ここでのポイントは2つあると思います。1つは「自分で現状に気づいたこと」、1つは「みんなで改善しようとしたこと」です。これぞまさに学校教育目標「自ら考え、共に学び合う」を体現する姿であり、縦割り班活動の醍醐味だと感じました。



夏休みの間、大切にしてほしいこと

いよいよ44日間の長い夏休みが始まります。たっぷりある時間を有効に使い、自分の可能性を広げてほしいと思います。

◆挑戦する

まず、お手伝いなど毎日の小さな挑戦を大切にしてほしいと思います。家庭内での役割を果たすことは、自己有用感や自己効力感などに繋がります。そして、興味や関心のあふることにより思いきり挑戦してほしいです。地域の行事などに積極的に参加して、ふるさと出石を学ぶ機会にするのもよいと思います。

◆休む時間をつくる

ダラダラと1日を過ごしてしまうのは好ましくありませんが、「休む」ということはとても大切なことです。「休む=怠ける」ではなく、「自分を整える行動」と捉えてみてはどうでしょうか。まず、早寝早起きなど規則正しい生活に心がけてほしいと思います。質の高い睡眠で体と脳を休めることは、やる気や心の安定に繋がります。また、スマホやゲームなどの刺激からいったん離れ、脳を休ませることも大切です。自然の中でゆっくり過ごしたり、物思いにふけたりすることは、自分の感覚に気づいたり、創造力を高めたりする大切な時間となります。



◆コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の取組

◆コミュニティ・スクールとは？

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」という組織を設置している学校のことです。この協議会を通して、学校運営に保護者や地域の方々に参画していただき、教育目標やビジョンを共有しながら、協働して子どもたちを育てることをねらいとしています。

◆合言葉は「つながる 広がる 出石大好きっ子」

弘道小学校は、「つながる 広がる 出石大好きっ子」を合言葉に、コミュニティ・スクールに先進的に取り組んでおり、今年度で6年目となります。以下が本校における取組です。子どもたちは保護者や地域の方々に支えていただきながら、健やかに育っています。



読み聞かせボランティア

子どもの学びを支える取組	子どもの安全安心を守る取組	子どもと地域をつなぐ取組
<ul style="list-style-type: none"> ◆読み聞かせ（弘道図書ボランティア） ◆環境体験学習（谷山川育む会/NPO 法人環境ネット出石） ◆伝承教室（大名行列保存会） ◆郷土学習（出石焼等） ◆文化芸術事業/運動会支援/奉仕作業（PTA） ◆地域ボランティア（学習・環境・図書） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆防犯ボランティア（弘道子どもを守る会） ◆子ども110番の家（弘道子どもを守る会） ◆通学路点検、要望（弘道子どもを守る会） ◆飛び出し人形設置/補修/点検（PTA） ◆交通安全教室/登校指導/校外指導（PTA） ◆学校環境美化活動（建築組合ボランティア） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆弘道わくわくクラブ（弘道コミュニティ） ◆あいさつ運動、資源ごみ回収等（PTA） ◆秋祭り子どもだんじり ◆NPOによる環境体験事業 ◆弘道コミュニティ事業 ◆地区/地域行事 ◆子供会行事

※弘道子どもを守る会…区長協議会長/校友会会長/子供会育成協議会長/出石幼 PTA 会長/弘道小 PTA 会長が組織するボランティア組織